

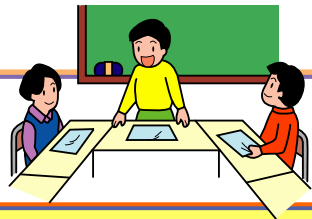
能力の開発①

考えを伝える

筋道を立てて考え、論理的に表現する

こんな指導をしてみませんか？

- 結論先行型で意見を述べる。その際、根拠を挙げる。
- 課題解決学習において、イメージマップをついたり、「帰納法」や「演繹法」などを活用したりすること。
- 新聞を読んで、論に賛成、反対することやディベートをすること。その際、複数の新聞の論を比較して同じ事象について様々な意見があることを知らせること。
- 総合的な学習の時間における学習を基にして「小論文」を作ってみること。その際、主題の提示、論証、反論への反論、主題の再提示という構成をすること。

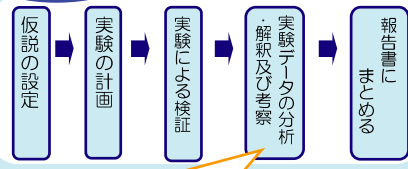


【理科における例】

学習内容

「植物の成長に関する探究活動」において、観察・実験を行い、報告書の作成を行う学習

学習の流れ



複数のデータを関連させて考察する。仮説と結果が異なった場合、原因を究明する。

想像力を動かしてみよう ①

— 経験していない事柄を頭の中でイメージする —

(例) 大地震に対する学校安全計画を作ってみる

- どんな被害が考えられるか？
- 家族との連絡は？
- 学校に避難してくる人がいるかも…

能力の開発③

豊かなことばで伝える

ことばの豊かさを味わい、自ら豊かに表現する

ことばの豊かさを味わう

詩や古典の朗読、スピーチ、演説、群読、方言による民話劇 など

様々なスタイルを経験することで、ことばの美しさ、温かさ、力強さを知ってほしい。

音楽・美術・身体表現との融合で表現の幅を広げる

謡、歌舞伎、演劇、落語、オペラ、ミュージカル など

様々な表現方法に出会うことで、表現することの楽しさを知ってほしい。



(組曲「西條」 東広島市立西条中学校)

美しい表現に出会う

教室や廊下などに、季節や生活に密着した美しいことばを掲示してみましょう。

「秋来ぬと目にはさやかに見えねども
風の音にぞおどろかれぬる」
もう秋なんですね…。としみじみ感じる心を育てたい。

豊かな体験を大切にする

幼児やお年寄り、働く人たちなどとの交流体験を充実させましょう。

豊かな体験こそが、生活や人生について考えるきっかけを与え、豊かなことばを生むことにつながるのではないのでしょうか。

能力の開発②

気持ちを伝える

感受性を働かせ、情感を込めて表現する

こんな指導をしてみませんか？

- 心に残ったことばや感動したことをメモ帳に記録して、友だちと話し合うこと。
- 物語や詩を読んだり物語・詩・日記・自伝を書いたりすること。
- 社会人になった先輩やプロの話を書くこと。
- ギャラリーガイドや鑑賞会を行い、芸術作品の素晴らしさを自分のことばで説明すること。
- 伝記や古典を読むことや将来の夢について書くこと。
- お見舞いの手紙を書くことやウェルカムスピーチをすること。

感受性の豊かな中学生にこそ絵本の読み聞かせが大切

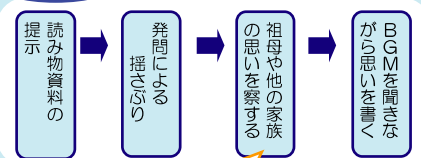
「感動がこころを育てます」読み聞かせを行うことで、教室が変わります。多感なこの時期こそ読み聞かせを！
村上淳子氏（常葉学園大学）

【道徳の時間における例】

学習内容

祖母が綴った「一冊のノート」から祖母の思いを感じ取り、「家族」を愛する心情を養う学習

学習の流れ



ロールプレイングを行い、相手の立場に立つてことばで表す。

想像力を動かしてみよう ②

— 相手の表情や態度から言外の思いを察する —

押し入れの中とは、整理してみたらなつかしいものや、なくしたと思っていたものがひょっこり出てくるものだ。

ある日、あんすのおじいちゃんも押し入れの整理をしていたら、なつかしの尺八が姿を現した。久しぶりに…。

以下略

- 漫画の1コマから人物の心情を想像し、自由に書く。
- 4コマを起承転結としてとらえさせ、ストーリーとして完成させる。

(東広島市立松賀中学校の取組み)

平成14年11月1日付

中国新聞朝刊37頁掲載

『あんずちゃん』

協力 中国新聞社



子どもを変える教師のことば

ことばは、学校のあらゆる教育活動の根本です。

子どもたちの表情やしぐさの変化、生活ノートの記録から、言外の思いを想像してみましょう。

教師のことばが変わり、授業が変わる。そして、子どもたちが変わる…。

